

平成30年度 愛知県公立高等学校 数学(中学2年用)
 Aグループ 学力検査より 2年()組()番 氏名()

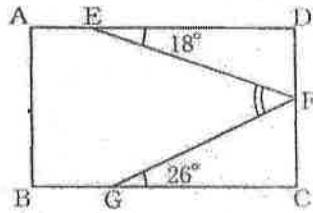
1 次の(1)から(9)までの問い合わせに答えなさい。

(1) $6 - (-24) \div 6$ を計算しなさい。

(2) $\frac{7x-4}{8} - \frac{x-1}{2}$ を計算しなさい。

(7) ある中学校の生徒数は180人である。このうち、男子の16%と女子の20%の生徒が自転車で通学しており、自転車で通学している男子と女子の人数は等しい。
 このとき、自転車で通学している生徒は全部で何人か、求めなさい。

(9) 図で、四角形ABCDは長方形、E, F, Gはそれぞれ辺AD, DC, BC上の点である。
 $\angle DEB = 18^\circ$, $\angle FGC = 26^\circ$ のとき、 $\angle EFG$ の大きさは何度か、求めなさい。



2 次の(1)から(4)までの問い合わせに答えなさい。

(1) 大小2つのさいころを同時に投げて、大きいさいころの出た目の数を a 、小さいさいころの出た目の数を b とするとき、方程式 $x^2 = ab$ の2つの解がともに整数となる確率を求めなさい。
 2数の積 ab が、自然数の平方である確率を求めなさい。

(2) 次の文章は、連続する5つの自然数について述べたものである。文章中の **A** にあてはまる最も適当な式を書きなさい。また、**a**, **b**, **c**, **d** にあてはまる自然数をそれぞれ書きなさい。

連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を n とすると、最も大きい数は **A** と表される。

このとき、連続する5つの自然数の和は $[a] (n + [b])$ と表される。

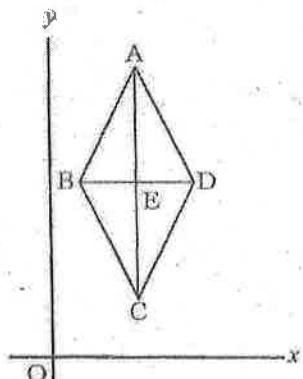
このことから、連続する5つの自然数の和は、小さい方から **c** 番目の数の **d** 倍となっていることがわかる。

(3) 図で、○は原点、四角形ABCDは $AC = 2BD$ のひし形で、Eは対角線ACとBDとの交点である。

点A, Bの座標がそれぞれ(3, 10), (3, 6)で、関数 $y = ax^2$ (a は定数) のグラフがひし形ABCDの頂点または辺上の点を通るとき、 a がとることのできる値の範囲を、不等式を使って表しなさい。

あるとき、次の問いに答えなさい。

① 点B, Cの座標をそれぞれ求めなさい。



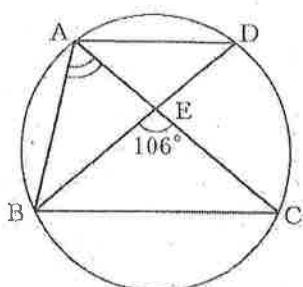
② 直線ADの式を求めなさい。

3 次の(1)から(3)までの問い合わせに答えなさい。

ただし、円周率は π とする。また、答えは根号をつけたままでよい。

- (1) 図で、A, B, C, Dは円周上の点、Eは線分ACとDBとの交点で、 $AB = AD$, $EB = EC$ である。

$AD \parallel BC$, $\angle BEC = 106^\circ$ のとき、 $\angle BAE$ の大きさは何度か、求めなさい。



- (4) 右図のような円形の遊歩道がある。

兄と弟が遊歩道上のA地点を出発し、それぞれ一定の速さで歩き、遊歩道を1周する。

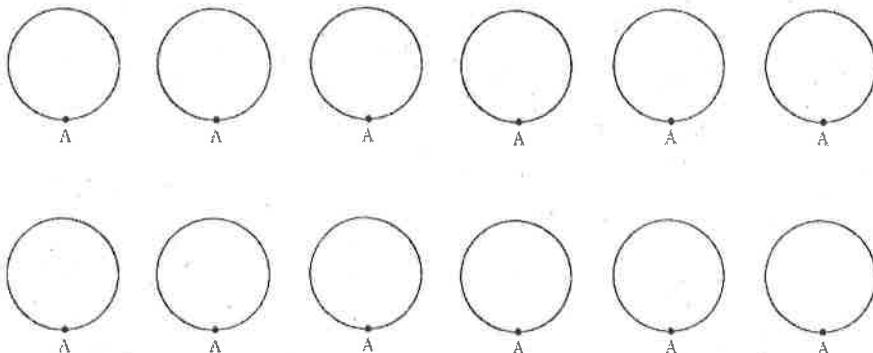
兄と弟が反対方向に歩くとき、次の①、②の問い合わせに答えなさい。

- ① はじめに、兄と弟は、同時に出发し、2人とも24分で遊歩道を1周した。兄と弟が出发してから経過した時間と、兄と弟がいる地点を結ぶ短い方の弧の長さの関係をグラフに表すと、右下のようになつた。

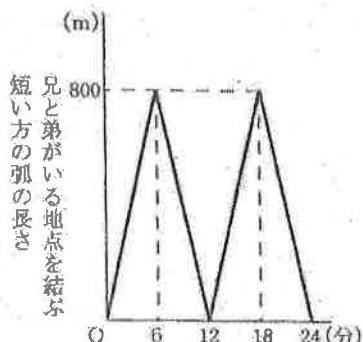
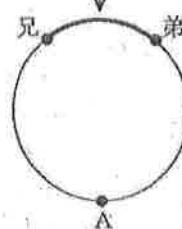
遊歩道1周の道のりは何mか、求めなさい。

- ② 次に、弟は兄より先に出发し、24分で遊歩道を1周して、A地点で止まり、兄を待った。兄は弟が出发してから6分後にA地点を出发し、弟が歩く速さと同じ速さで歩き、遊歩道を1周した。

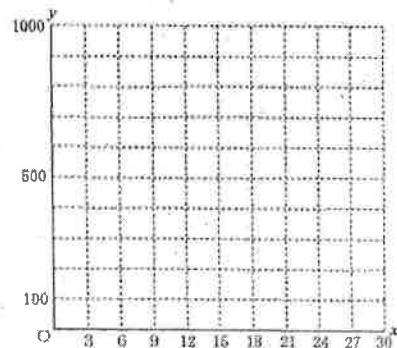
兄が出发してからx分後の兄と弟がいる地点を結ぶ短い方の弧の長さをy mとするとき、兄が出发してから遊歩道を1周するまでのxとyの関係を、グラフに表しなさい。



兄と弟がいる地点を結ぶ
短い方の弧の長さ



兄と弟がいる地点を結ぶ
経過した時間



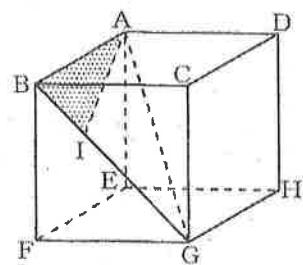
(3) 図で、立体ABCDEF GHは立方体である。Iは線分BG上の点で、 $BI : IG = 1 : 2$ である。

$AB = 3\text{ cm}$ のとき、次の①、②の問い合わせに答えなさい。

① 線分AIの長さは何cmか、求めなさい。

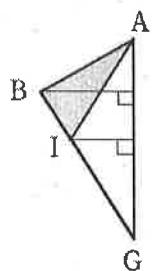
② $\triangle ABI$ を、直線AGを回転の軸として1回転させてできる立体の体積は何 cm^3 か、求めなさい。

① 図の中で実線か点線で表されている線分の中で、直線ABと垂直なものをすべて答えなさい。



② BからAGにおろした垂線の長さを $3a\text{ cm}$ とするとIからAGにおろした垂線の長さは $2a\text{ cm}$ となる。AGの長さを b とする。

$\triangle ABI$ を、直線AGを回転の軸として1回転させてできる立体の体積を a, b を使った式で表しなさい。



(問題はこれで終わりです。)